

田中美貴子 MIKKO NEWS 議会報告



新しい年を迎え、皆様におかれましては、お健やかに過ごしの事と存じます。昨年は、急な衆議院解散があり、多くの課題を残したものの、皆様のご支援のもと、山井和則衆議院議員が比例復活により、国会で引き続き仕事ができる事になりました。今回の結果は、改めて、地方議会・地方議員のあり方を考えさせられたものともなりました。これからの活動につきましては、皆様とともに、しっかりと地に足をつけた活動をしてまいりたいと思っております。

今年、私にとりましては、議員にならせていただき、宇治市議会を通して20年目となる年となります。昨年より実施された、「お茶の京都博」では、山城地域一帯が「日本茶800年の歴史」を再発見し、多くの皆様にその良さを堪能いただいたものと思っております。こういったイベントを通して、多くの皆様と交流出来た事に感謝し、改めて、宇治・久御山の良さや課題を皆様とともに語り合う機会を設けたいと思っておりますので、今度ともご指導・ご支援をいただきますよう、よろしくお願い致します。



田中美貴子

9月定例会 一般質問

01 認知症の取組について

Q 質問 集団検診時に認知機能低下検査を実施すべきについて

A 回答 認知症検査はモデル的に2015年度から乙訓2市1町で実施しているが、受診率は5割。今後皆さんがこの検査を受ける体制づくりを検討したい。

Q 質問 徘徊対策の現状と課題及び来春開設の認知症総合センターの進捗状況、認知症サポーターへの取り組みについて。

A 回答 町村や包括支援センター、警察などの皆さんと連携して「SOSネットワーク」を全ての市町村で構築し、この1年間で148人の通報を受け、141人の人が発見された。スマートフォンを活用した実証実験も含めて、より効果的な手法について、市町村と連携して検討してまいりたい。宇治市に開設される認知症対策の全国モデルを、このセンターで構築したい。

02 LGBT(性的少数者)について

Q 質問 多様性を認める教育現場での取り組みについて

A 回答 自分らしく生きることのできる社会について考える為の教材や指導者用資料の充実を図るとともに、それらを活用し、日常の学校生活を通じて一層、きめ細かく指導するなどLGBTに関する教育の推進に努める。

